

国史跡「仙台城跡」 災害復旧工事情報

No.3 平成 25 年 2 月 7 日

【①大手門北側土堀】

粘土を積み上げて、凍結防止の養生中です。乾燥後、瓦を葺く工事を行う予定です。



【②中門石垣】

中門は北側石垣の積み直しが始まりました。基本的に元の石材を積んでいます。基礎の変形に対応するため、幾つかの石材は現状に合わせて加工したものと取り替えたり、一部を加工したりして積んでいます。



仙台城跡周辺略図

【③本丸北西石垣】

本丸北西石垣は約 200mにわたる石垣で、各所が崩落や変形をしています。崩落して散乱した石材を上から順に除去したところ、石垣下部の石材は、並んだまま前方に飛び出して逆さになった状態で現れ、地震のエネルギーの激しさを物語っています。



石垣石材には朱で「15 十二」などのアラビア数字が書かれたものがあり、明治以降にも修復が行われたことを示しています。

